



このたび、〔武蔵野周縁〕の撮影地について、高松 覚先生（天体写真家）、宮下 敦先生（成蹊学園サステナビリティ教育研究センター）が山なみなどから推定をしてくださいました。

その段で、写真が裏焼きである可能性をご指摘いただきました。この写真はプリントされた状態で寄贈を受けたものですが、ご指摘によって、プリントの段で何らかの事由により裏焼きになっていたことがわかりました。正しくは上の画像のようになります。ここにお詫びして訂正させていただきます。申し訳ございません。

さらに、高松先生の推定に基づき、田代 博先生（日本地図センター相談役）が撮影地点の分析をしてくださいました。撮影地の候補は世田谷区上祖師谷付近、詳しい分析結果は田代先生のホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

<http://yamao.lolipop.jp/tenbo/20/koyo/musashino.htm>



ご教示に心より感謝と御礼を申し上げます。

また今回、裏焼きとわかっていても構図や軸に違和感がなく、岡田紅陽のすぐれた作画技術をあらためて認識させられることとなりました。

（加えて、フィルムの存在確認も難しく、残されたプリントはこの1枚のみとも考えられる現状で、プリントそのものが貴重な資料であることには違いありません）

富士山がはっきり見える日に、皆さまもぜひこの地点からの撮影にチャレンジいただけましたら幸いです。